



エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

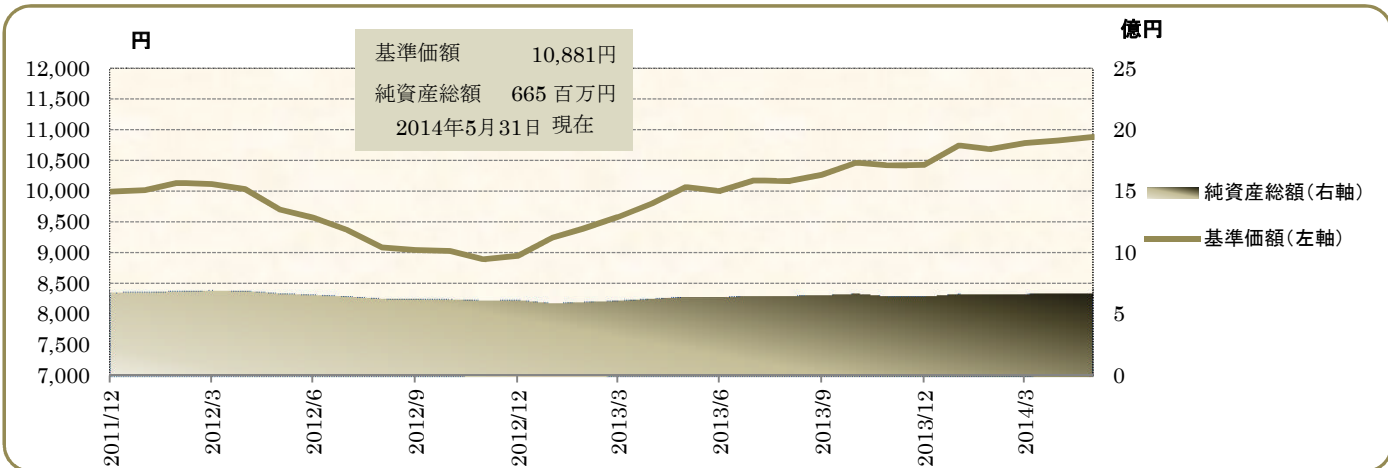
ケイマン諸島籍オープン・エンド契約型外国投資信託(追加型)

作成基準日

2014年5月31日

基準価額騰落率推移 (諸費用控除後、税引前)

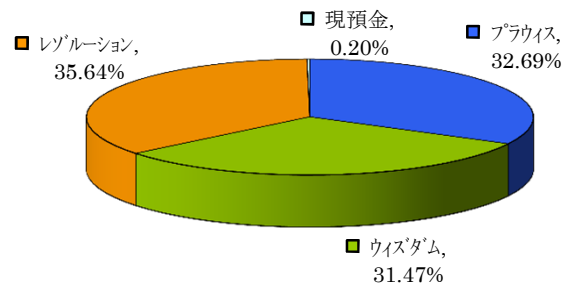
2014	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
騰落率	3.05%	-0.55%	0.89%	0.41%	0.55%								4.38%
2013	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
騰落率	3.32%	1.57%	2.01%	2.27%	2.77%	-0.68%	1.80%	-0.18%	1.03%	1.91%	-0.43%	0.08%	16.51%
2012	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
騰落率	0.28%	1.22%	-0.21%	-0.83%	-3.36%	-1.32%	-2.12%	-3.02%	-0.45%	-0.17%	-1.51%	0.66%	-10.40%



運用実績

設定日:	2011年12月19日	
決算日:	毎年11月30日	
当初設定元本:	673 百万円	
基準日:	2014年5月31日	
基準価額:	10,881円	対前月比 59円
純資産総額:	665 百万円	対前月比 +3.6 百万円
設定来高値:	10,881円	
設定来安値:	8,888円	
期間別	3ヶ月	1.85%
基準価額騰落率	6ヶ月	4.46%
設定来	ファンド	8.81%
基準価額騰落率	TOPIX	66.04%
	日経平均	74.16%

投資対象ファンドへの資産配分 (2014年5月31日現在)



運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

投資対象ファンドの基準価額騰落率推移 (諸費用控除後、税引前)

2014	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
プライム	2.24%	-0.37%	0.41%	1.08%	0.88%								4.29%
ウィズダム	0.94%	-0.06%	0.36%	0.81%	0.50%								2.57%
レゾリューション	6.74%	-0.06%	2.94%	0.52%	1.36%								11.88%
アドバンスド	3.59%	1.01%	0.60%	2.15%	1.23%								8.84%
バリエーション	7.64%	0.92%	3.59%	3.63%	1.89%								18.82%
2013	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
プライム	2.93%	1.07%	1.65%	3.95%	3.00%	-0.09%	1.11%	-0.32%	0.23%	0.95%	-1.04%	-0.06%	14.08%
ウィズダム	2.59%	2.09%	0.71%	2.09%	2.03%	1.19%	1.36%	0.44%	1.06%	0.73%	-0.15%	-0.01%	15.05%
レゾリューション	5.82%	2.76%	4.78%	2.00%	4.83%	-1.97%	4.08%	0.46%	2.94%	4.90%	1.06%	1.46%	38.27%
アドバンスド	7.06%	6.89%	2.79%	6.39%	5.21%	4.71%	4.15%	0.84%	1.20%	1.91%	-2.71%	1.61%	47.65%
バリエーション	11.36%	2.57%	1.43%	14.44%	7.46%	1.93%	3.77%	0.67%	0.51%	3.33%	-5.39%	3.07%	53.66%

* 上記騰落率は投資対象ファンドの費用控除後の騰落率です。エピック・ヘッジファンド・セレクション1 (以下「HFS」という) にかかるコスト等が含まれないため、投資対象ファンドの騰落率を資産配分結果で加重平均した場合、HFSの基準価額騰落率とは一致いたしません。

* アドバンスドおよびバリエーションの騰落率はJPY-Sクラスの騰落率です。



エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

相場動向

5月の株式相場は日経平均で2.29%上昇の14,632.38円、TOPIXで3.35%上昇の1,201.41ptと、月間では5ヵ月ぶりの上昇となりました。

上旬から中旬にかけては、一進一退の動きが続きました。最高値を更新するNYダウを好感した買いが入る一方で、米長期金利の低下を受けた円高が上値を抑えました。14年度の企業業績見通しは市場の予想を上回るものではなく、期待から買われていた銘柄を中心に売られました。日銀金融政策決定会合後には追加金融緩和への期待が後退し、日経平均が一時14,000円を下回る場面もありました。

下旬は、中国の景気指標の改善や米国株高、円高傾向の一服などを背景に、上昇に転じました。かんぽ生命が日本株の購入を拡大する方針と報じられたことも好材料視されました。TOPIXは月末に掛けて7連騰を記録しました。

東証一部の売買代金は一日平均1.7兆円と、引き続き低調でした。需給面では、自社株買いの発表が急増し、信託銀行や事業法人が買い越しとなりました。

セクター別騰落率では、証券業、その他金融業、保険業、電力・ガス業、不動産業が上位となり、倉庫運輸、繊維製品、鉱業、非鉄金属、空運業が下位となりました。

組入ファンドの運用状況と今後の市況見通し及び投資戦略

【ブラウイス】

〈ファンド運用状況〉

5月の運用成績はJPYクラスで+0.88%となりました。ポジション金額が多い機械、食品セクターで割高・割安の修正があったこと、ロングのウェイトが高い銀行株が相対的にアウトパフォームしたこと、またPEのファクターが効いたことがプラスの要因となりました。

セクター別の損益は、機械、食品、銀行、不動産セクターでプラスとなり、化学、その他金融セクターでマイナスとなりました。

〈今後の市況見通し及び投資戦略〉

6月の株式市場は下値を切り上げる展開を想定します。雇用環境の改善から消費増税後も個人消費は底堅く推移しており、国内景気に対する過度の不透明感は払拭されると思われます。また、成長戦略第2弾に対する期待から日本株に対する見直し買いが増加すると考えます。

今後の運用方針は、個別企業の業績・需給動向や国内外のマクロ動向を勘案し、相対的な割高・割安を適切に判断しながら、マーケットの上下に左右されない安定した収益の獲得を目指します。

【ウイズダム】

〈ファンド運用状況〉

5月の運用成績はJPY-Fクラスで+0.50%でした。月前半は割安株の利益確定売りが見られパフォーマンスは低調でしたが、月後半は割安・割高の価格訂正により収益は改善傾向となりました。また、ロング保有の電子楽器製造のローランド(7944)がMBOを発表し株価がTOB価格にさや寄せ(14日終値対比+19%高)し、プラス収益に貢献しました。

個別銘柄レベルでは、ロングポジションではデジタルガレージ(4819)、ローランド(7944)、ショートポジションでは豊田紡織(6201)、アルペン(3028)がプラス収益に寄与しました。

〈今後の市況見通し及び投資戦略〉

6月の株式市場は緩やかな上昇を予想します。国内企業は消費増税の駆け込み需要の反動を懸念し、保守的な今年度業績見通しを開示しましたが、現時点で消費・設備投資とも想定内にとどまっており、今後需要の冷え込みが見られないことが判明するに従い株式市場は上値を試す展開を予想します。但し、政府発表予定のアベノミクス成長戦略が市場の期待値に届かない場合には株式市場の下落要因となります。

今後の投資戦略につきましては、クオンツモデルとトップアナリストによる投資評価の双方を活用し、銘柄選択により安定的な収益を目指します。

【レゾリューション】

〈ファンド運用状況〉

中小型株の市場は、月初より大きくアンダーパフォームしました。一方、マザーズ市場など小型株らしいネット系やサービス系の銘柄は、月央より大きく切り返す展開となりました。下旬に株価が戻り相場となった場面で、ROEなどの効率性指標やグロース系の投資指標の有効性が急上昇したため、月間を通じてグロース優位となっていますが、ややバリュエーション無視のリバウンド相場になったと言えます。

ポートフォリオは、機械、サービスなどのセクターをオーバーウェイトし、小売セクターを大きくアンダーウェイトとしました。また、小型株ロング、大型株ショートの状態を維持しました。

業績回復が見られるVテクノロジー(7717)や業績好調なK Lab(3656)などのロングがプラス寄与し、ネット関連銘柄のショートがマイナス寄与となりました。月中で市場が大きくトレンド転換しましたが、前半には割安銘柄、後半にはサービスセクターの寄与により、小型株市場のマイナスの影響を回避しました。

〈今後の市況見通し及び投資戦略〉

本決算の発表が終わり、企業の新年度ガイダンスに対する一部過剰反応も見られましたが、全体として足元の業績を反映した動きとなっています。

外部環境が不透明な状況から、業績予想値の信頼性が揺らいでおり、第一四半期の決算が終わるまでは、不安定な株価変動も想定されます。また、表面的なバリュエーション面からの株価妥当性を判断し難いこともあり、一部ファンダメンタルを無視した値動きも見られます。

一部銘柄への関心や売買が集中し、割安な小型株に注目が集まる局面がすぐに訪れることはないと考え、バリュエーション面だけでない定性的なプレミアム付与が可能なグロース銘柄への投資を進めます。

過度なリバーサルによる高バリュエーション銘柄のショートの機会を伺い、一方、業績モメンタムの大きい割安株のロング銘柄の組入を行います。

引き続き、成長力や競争力といった中期的な視点により割安銘柄と割高銘柄の選別を進めます。

投資信託の主な関係法人

管理会社:	インターナショナル・マネジメント・サービシス・リミテッド
信託会社:	G.A.S. (ケイマン)リミテッド
管理事務代行会社:	エスエムティー・ファンド・サービシス(アイルランド)リミテッド
保管銀行:	スミトモ・ミツイ・トラスト(ユークイ)リミテッド
投資運用会社:	エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第432号 加入協会:一般社団法人 日本投資顧問業協会
代行協会員・日本における販売会社:	ヘッジファンド証券株式会社 http://hedgefund-sec.com/ 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2580号 加入協会:日本証券業協会

エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

金融商品取引法に基づく表示

商号等

エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第432号

当社が加入する協会等について

一般社団法人 日本投資顧問業協会 加入 第011-01395号

ご留意事項

- 当資料は投資信託の運用状況をお知らせするためにエピック・パートナーズ・インベストメンツが作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。
- 投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。
- 当資料は特定の有価証券等の取得の申込み、投資顧問契約、投資一任契約の勧誘等を目的としたものではありません。
- 当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。
- 運用管理費用、監査費用、その他の諸経費が、投資信託の保有期間に応じてかかりますが、事前にその上限を示すことができません。また、有価証券の売買等に係る手数料、租税等が発生しますが、運用の状況により変動しますので事前にその上限を示すことができません。

**当資料は、投資運用会社であるエピック・パートナーズ・インベストメンツが投資信託の運用状況をお知らせするために作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。
投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。**